



第 151 期 中間報告書

(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

株式会社 **ニコン**

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループ第151期上半期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の事業の概況並びに連結決算についてご報告申し上げます。



取締役会長

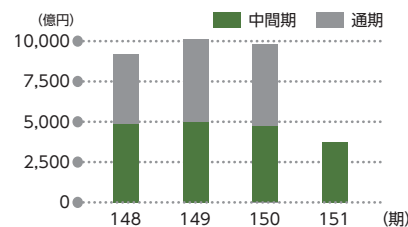
木村 真琴



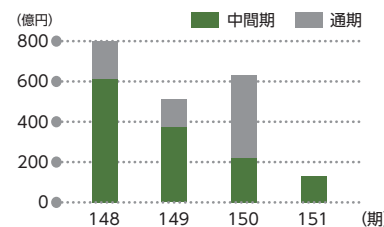
取締役社長兼社長執行役員

牛田 一雄

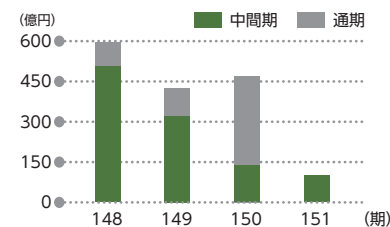
売上高 **3,749億65**百万円
前年同期比 **20.3%**減



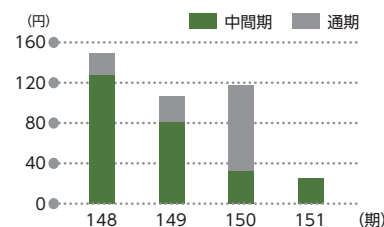
営業利益 **130億99**百万円
前年同期比 **40.2%**減



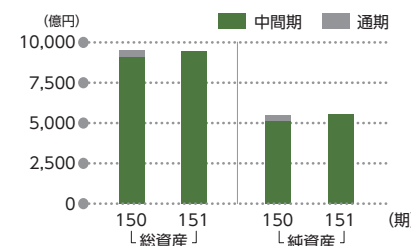
当期純利益 **100億70**百万円
前年同期比 **26.0%**減



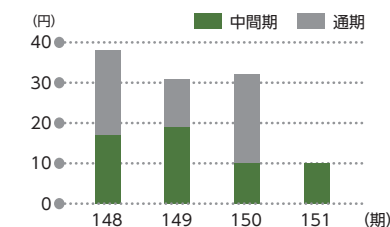
1株当たり当期純利益 **25円39**銭



総資産 **9,484億64**百万円
純資産 **5,528億11**百万円



1株当たり配当金 **10円00**銭



当上半期の概況

当第2四半期連結累計期間の経済状況は、わが国経済においては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響はありましたが、回復傾向が続きました。また、世界経済は、米国経済は堅調な個人消費に支えられ成長が続きましたが、欧州経済は景気の停滞が続き、新興国経済は成長の鈍化傾向を示しました。

事業別では、精機事業においては、半導体関連分野は市場が堅調に推移しましたが、FPD関連分野では設備投資が一段落しました。映像事業は、レンズ交換式デジタルカメラ市場は欧州・中国で低調に推移し、コンパクトデジタルカメラ市場は引き続き縮小しました。インストルメンツ事業においては、マイクロスコープ関連分野は国内の公共予算縮小及び執行遅延の影響を受けましたが、産業機器関連分野は半導体・電子部品関連の設備投資が引き続き回復基調にありました。

通期の見通し

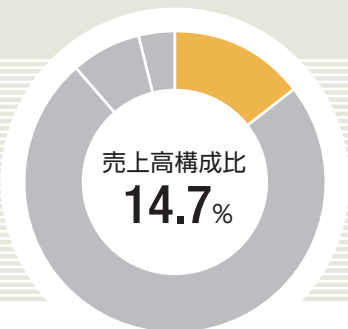
今後につきましては、精機事業では、半導体関連分野の市場は引き続き堅調に推移し、FPD関連分野では、中小型ディスプレイ用の設備投資が一段落するなか、大型ディスプレイ用の装置需要は回復の動きが見られます。映像事業では、コンパクトデジタルカメラ市場は引き続き縮小することが予想されます。レンズ交換式デジタルカメラ市場は欧州・中国において厳しい環境が続きますが、米国及びアジア等の新興国市場では回復が見込まれます。インストルメンツ事業では、マイクロスコープ関連分野の市場は国内

こうした事業環境において、特長のある新製品の投入などにより売上げの拡大を図るとともに、設計や製造工程にまで踏み込んだ原価改善や本社・各事業の間接費等の削減による利益の確保に努めましたが、市場環境悪化の影響を受け、第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,749億65百万円、前年同期比955億18百万円(20.3%)の減少、営業利益は130億99百万円、前年同期比88億2百万円(40.2%)の減少、経常利益は147億60百万円、前年同期比52億66百万円(26.3%)の減少、四半期純利益は100億70百万円、前年同期比35億37百万円(26.0%)の減少となりました。

における公共予算執行の遅延や欧州経済の停滞が続く一方、米州及びアジアでは堅調に推移することが見込まれ、産業機器関連分野は設備投資の回復基調が継続することが予想されます。

このような状況の下、当社としましては、持続的成長の実現に向け、既存事業の収益性の向上に努めるとともに、新たな事業の柱として期待される医療事業に経営資源を集中投下することで早期育成を図ってまいります。

平成26年11月

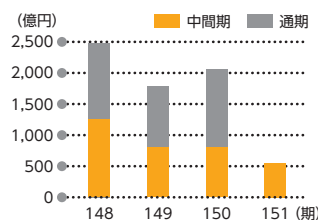


精機事業

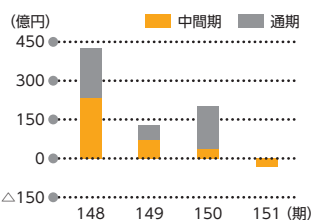
パソコン、携帯電話をはじめとする各種情報機器へ搭載される半導体の生産に欠かせない半導体装置事業と、薄型テレビやスマートフォンなどに使用される液晶パネルや有機ELパネルの生産を支えるFPD装置事業から成り、光利用技術及び精密技術を核とした最先端の商品・サービスを提供しています。



売上高 549億78百万円
前年同期比31.2%減



営業損失 32億61百万円
前年同期は37億32百万円の営業利益



主要製品

- 半導体露光装置
- FPD露光装置

当上半期の事業関連市況

半導体関連分野はメーカー各社の設備投資回復により堅調であった一方、FPD関連分野は中小型ディスプレイ用装置の設備投資が一段落したことで、前期に比べ低調に推移しました。

半導体露光装置分野

ArF液浸スキャナーを中心に拡販に努めました。

FPD露光装置分野

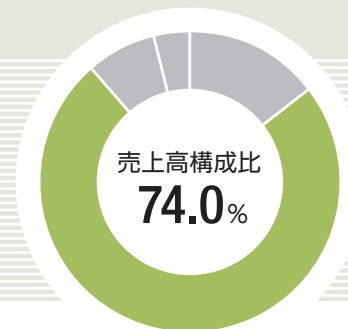
スマートフォンやタブレットなどの中小型ディスプレイの生産に適した「FX-66S」「FX-67S」などの販売に引き続き注力したほか、テレビなど大型ディスプレイの生産に適した装置の販売にも努めました。

当上半期の取り組み

事業全体を通じて工期短縮など原価改善に努め、収益構造の改善にも取り組みました。

当上半期の業績

半導体露光装置の売上げの一部が下期に繰り延べとなったことなどから、当事業の売上高は549億78百万円、前年同期比31.2%の減少、営業損失は32億61百万円（前年同期は37億32百万円の営業利益）となりました。

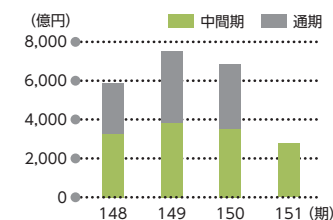


映像事業

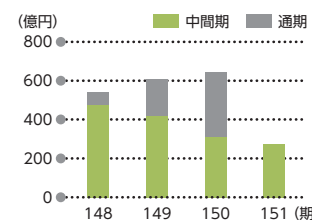
プロ仕様から初心者向けまでラインナップを取り揃えたレンズ交換式デジタルカメラや交換レンズ、高性能で使いやすいコンパクトデジタルカメラなどの映像関連商品や、その周辺領域の商品・サービスを提供しています。



売上高 2,774億29百万円
前年同期比21.3%減



営業利益 275億70百万円
前年同期比10.8%減



主要製品

- レンズ交換式デジタルカメラ
- コンパクトデジタルカメラ
- 交換レンズ
- フィルムカメラ
- 望遠鏡

当上半期の事業関連市況

レンズ交換式デジタルカメラ市場は欧州・中国で低調に推移し、コンパクトデジタルカメラ市場は引き続き縮小しました。

レンズ交換式デジタルカメラ

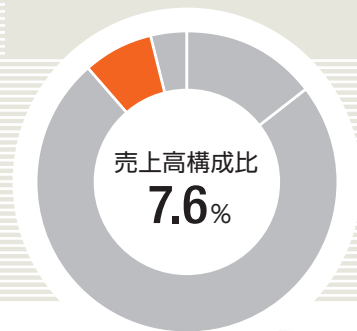
プロフェッショナルモデルに迫る本格仕様のデジタル一眼レフカメラ「D810」やミドルクラスモデルの「D7100」などの販売が好調に推移しました。また、本年9月に「D750」を発売し、好評を博しました。

コンパクトデジタルカメラ

光学30倍の超高倍率ズームモデル「COOLPIX S9700」や、COOLPIX史上最高の光学60倍ズームの多機能モデル「COOLPIX P600」などの販売が好調に推移しました。

当上半期の業績

主に欧州・中国市場の低迷による影響を受けるなかで、商品ミックス及び原価改善等により収益性が向上しましたが、当事業の売上高は2,774億29百万円、前年同期比21.3%の減少となり、営業利益は275億70百万円、前年同期比10.8%の減少となりました。



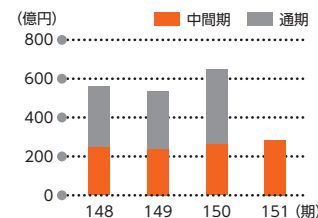
インストルメンツ事業

バイオテクノロジー研究を支える生物顕微鏡などを扱うマイクロ스코プ・ソリューション事業と、精密機械部品や半導体関連などで使用される工業用顕微鏡、測定機、半導体検査装置を扱う産業機器事業から成り、最新のデジタル技術と伝統の光学技術を融合した商品・サービスを提供しています。

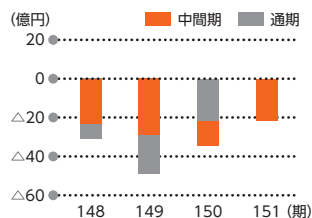


NEXIV VMZ-R6555

売上高 285億19百万円
前年同期比9.4%増



営業損失 21億44百万円
前年同期は34億37百万円の営業損失



主要製品

- 生物顕微鏡
- 工業用顕微鏡
- 測定機
- 半導体検査装置

当上半期の事業関連市況

マイクロ스코プ関連分野では国内の公共予算縮小及び執行遅延の影響を受けたものの、他の地域においては堅調に推移し、産業機器関連分野は半導体・電子部品関連における設備投資が回復基調にありました。

マイクロ스코プ・ソリューション事業

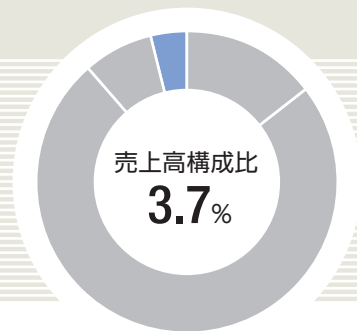
一般顕微鏡を中心に堅調に推移しました。

産業機器事業

CNC画像測定システム「NEXIV」シリーズの販売台数の増加により、売上げを伸ばしました。

当上半期の業績

売上高は285億19百万円、前年同期比9.4%の増加、営業損失は21億44百万円(前年同期は34億37百万円の営業損失)となりました。



その他の事業

宇宙関連製品をはじめとする特注機器を扱うカスタムプロダクツ事業、最先端の液晶パネルや有機ELパネルを製造するために欠かせないFPDフォトマスク基板などを扱うガラス事業などがあります。

当上半期の取り組み

カスタムプロダクツ事業では、宇宙関連製品が大きく売上げを伸ばし、ガラス事業では、FPDフォトマスク基板の生産性の向上などにより収益改善に努めました。

当上半期の業績

売上高は140億38百万円、前年同期比17.2%の増加、営業利益は33億78百万円、前年同期比72.9%の増加となりました。

売上高 140億38百万円
前年同期比17.2%増

営業利益 33億78百万円
前年同期比72.9%増

主要製品

- 特注機器
- FPDフォトマスク基板

サービスのご案内

Nikon Direct 「ニコンダイレクト」



「Nikon Direct」は、ニコンの子会社である株式会社ニコンイメージングジャパン直営のオンラインショップです。直営だからできる、他には無い様々な商品が満載ですので、是非ご利用ください。

HP <http://shop.nikon-image.com/>

NIKON IMAGE SPACE 「ニコンイメージスペース」



「NIKON IMAGE SPACE」はニコンの無料フォトストレージサービスです。大切な写真や映像をオリジナルデータで保存し、写真の持つ表現力そのままに整理・共有が可能です。

HP <http://nikonimagespace.com/>

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 平成26年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期末 平成26年9月30日現在
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	225,519	217,361
受取手形及び売掛金	128,443	111,268
商品及び製品	92,792	104,869
仕掛品	123,813	136,524
原材料及び貯蔵品	28,336	29,802
その他	53,887	58,998
貸倒引当金	△3,969	△4,361
流動資産合計	648,822	654,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,612	51,368
機械装置及び運搬具(純額)	57,609	56,411
土地	15,234	15,353
建設仮勘定	8,407	7,056
その他(純額)	27,413	27,466
有形固定資産合計	159,278	157,655
無形固定資産		
のれん	3,759	3,417
その他	29,247	28,561
無形固定資産合計	33,006	31,979
投資その他の資産		
投資有価証券	72,742	78,958
その他	35,920	25,669
貸倒引当金	△255	△262
投資その他の資産合計	108,408	104,364
固定資産合計	300,693	294,000
資産合計	949,515	948,464

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 平成26年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期末 平成26年9月30日現在
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,841	124,542
短期借入金	14,511	14,628
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	4,449	2,464
製品保証引当金	9,926	7,642
その他	122,448	124,015
流動負債合計	280,176	273,294
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	49,600	49,600
退職給付に係る負債	4,674	4,190
資産除去債務	2,755	2,625
その他	15,495	15,942
固定負債合計	122,525	122,358
負債合計	402,702	395,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	65,475	65,475
資本剰余金	80,711	80,711
利益剰余金	384,843	374,234
自己株式	△12,618	△12,502
株主資本合計	518,412	507,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,859	17,907
繰延ヘッジ損益	△160	30
為替換算調整勘定	17,424	28,009
退職給付に係る調整累計額	△2,762	△2,548
その他の包括利益累計額合計	27,361	43,398
新株予約権	952	1,044
少数株主持分	87	448
純資産合計	546,813	552,811
負債純資産合計	949,515	948,464

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日
売上高	470,484	374,965
売上原価	301,626	228,788
売上総利益	168,857	146,177
販売費及び一般管理費	146,956	133,078
営業利益	21,901	13,099
営業外収益		
受取利息	395	636
受取配当金	687	702
持分法による投資利益	642	729
その他	2,734	2,210
営業外収益合計	4,460	4,279
営業外費用		
支払利息	887	738
為替差損	3,009	498
その他	2,437	1,380
営業外費用合計	6,334	2,617
経常利益	20,027	14,760
特別利益		
固定資産売却益	34	24
投資有価証券売却益	—	46
特別利益合計	34	71
特別損失		
固定資産売却損	20	52
減損損失	2	—
投資有価証券売却損	11	—
投資有価証券評価損	—	0
特別損失合計	34	52
税金等調整前四半期純利益	20,027	14,779
法人税、住民税及び事業税	6,414	4,676
少数株主損益調整前四半期純利益	13,612	10,103
少数株主利益	3	32
四半期純利益	13,608	10,070

ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報や財務情報、事業活動や製品情報などをはじめとする様々な情報を掲載しております。
当社をよりご理解いただくためにも是非ご覧ください。

HP <http://www.nikon.co.jp>

●投資家情報



●企業情報



●製品・サポート



NEWS

「D4S」が「EISAアワード」を受賞



デジタル一眼レフカメラ「D4S」が、欧州を代表する権威ある映像・写真関連の賞、「EISAアワード」において、「ヨーロッパプロフェッショナルカメラ 2014-2015」を受賞しました。同機の広い常用ISO感度域や、高速連続撮影性能などが評価されました。この他にも、同機は「TIPA アワード 2014」で「ベスト プロフェッショナル デジタル一眼レフカメラ」を受賞するなど、各方面から高い評価を得ています。

NEWS

販売会社「Nikon Latin America, S.A.」を設立、営業開始

中南米でのデジタルカメラをはじめとする映像関連製品の販売強化とアフターサービスの充実を図るため、販売会社「Nikon Latin America, S.A.」をパナマ共和国のパナマ市に設立しました。中南米は近年、多くの国で経済成長率の上昇が続いており、デジタルカメラ事業の継続的な成長が期待される地域の一つで、ニコンはメキシコ、ブラジルにも販社を設立しています。

NEWS

ニッコール「NIKKOR」レンズ、累計生産本数9,000万本を達成

レンズ交換式カメラ用の「NIKKOR」レンズの累計生産本数が、2014年10月下旬に9,000万本を達成しました。また、ニコンが独自開発したAF駆動用の超音波モーターであるSWM(Silent Wave Motor)を搭載した「NIKKOR」レンズの累計生産本数も、5,000万本を達成しています。

NEWS

絶滅危惧種「イヌワシ」の行動調査を支援

生物多様性復元を目指す「赤谷プロジェクト」によるイヌワシの行動調査を機材提供で支援しています。ニコンは2005年から公益財団法人日本自然保護協会を通じて同プロジェクトを支援しており、モニタリングや記録撮影などの調査研究活動で、双眼鏡、フィールドスコープ、デジタルカメラなど多くのニコン製品が活躍しています。



撮影:日本イヌワシ研究会 折内 耕一郎氏(2010年11月 赤谷の森にて)

製品

高い機動力と高品位画質

D750

新開発のCMOSセンサーと新しいアルゴリズムを採用した画像処理エンジンにより、コントラストが低い被写体でも鮮鋭感を保つ高品位画質と、光量の少ないシーンでも手持ちで撮影できる優れた高感度性能を実現しました。骨格を兼ね、内部構造を堅固に守るモノコック構造の外装を採用するなど、高い強度と剛性を確保しながらも小型・軽量化を達成しています。また、しっかりとホールドできるグリップによって高い機動力も保持し、低輝度対応AF、優れた防塵・防滴性能などプロフェッショナルモデルに迫る機能、性能を備えています。



さらに、ニコンFXフォーマットモデルとして初めて、素早く展開できるチルト式液晶モニターを採用しました。上向き最大約90度から下向き最大約75度までの広範囲を自由に調整でき、多彩なアングルで撮影することが可能です。また、ニコンFXフォーマットモデル初となるWi-Fi®機能を内蔵し、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスと双方向ワイヤレス通信により、ワイヤレス操作での写真転送やリモート撮影が可能です。



製品

軽量・コンパクトボディに充実の光学性能の双眼鏡

PROSTAFF 7S 8×30/ 10×30

軽量・コンパクトボディで入門機に適した2機種 of 双眼鏡です。プリズムに施された位相差補正コーティングと高反射ミラーコーティングにより、自然な色調とコントラストを追求しました。また、すべてのレンズとプリズムに多層膜コーティングを採用し、明るい視界を実現しています。さらには、本体内部に窒素ガスを充填することで、雨や水しぶきで本体が濡れても光学系内部に曇りやカビが生じにくい防水構造になっています。





製品 有効画素数3,635万画素
D810

有効画素数3,635万画素とISO 64~12,800の幅広い常用感度域を実現し、高い鮮鋭感と豊かな階調性を誇る、ニコンデジタル一眼レフカメラ史上最高画質のモデルです。また、FXフォーマットで最高約5コマ/秒、DXフォーマットでは最高約7コマ/秒*の高速連続撮影が可能。さらに画質を高めたフルHD動画は、被写体の動きを滑らかに表現できる1,920×1,080/60pに対応しています。また、被写体や表現意図に合わせて画像や映像の「作り」が簡単にできる、ピクチャーコントロールシステムも従前よりさらに充実しています。

※別売のアクセサリが必要です。
*連続撮影のコマ数はすべて、AFモードがAF-C、露出モードがSまたはM、1/250秒以上の高速シャッタースピードで、その他が初期設定のときの値です。

製品 自分撮りを楽しむための機能が充実
COOLPIX S6900

多彩なアングルでの撮影が可能なバリエーション液晶モニターに加え、カメラを縦横どちらの方向にも置けるカメラスタンドやフロントシャッターボタンを搭載した、自分撮りが楽しめるモデルです。

手のひらでカメラをリモートコントロールできる「ジェスチャー操作」の操作性を向上させたほか、液晶モニターで効果を確認しながら撮影できる「メイクアップモード」など、多彩な機能を搭載しています。さらには、NFC及びWi-Fi®を内蔵し、撮影した画像をスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスへ簡単に転送できます。



リッチブラック



グロッキーピンク



ナチュラルホワイト

製品 小型・軽量でゴルフに最適な携帯型レーザー距離計
COOLSHOT 20

レーザー距離計は、目標物に赤外線レーザーを照射し、反射して戻ってくる時間をもとに目標物までの距離を瞬時に測定するもので、ニコンではゴルフでの使用に最適な携帯型レーザー距離計を販売しています。そのなかでも「COOLSHOT 20」は、ポケットに収まるサイズでラウンド中も邪魔にならない、質量約125gを実現した小型・軽量モデルです。



FX-86SH2

製品 高精細大型パネルの生産に最適な露光装置
FX-86S2、FX-86SH2

4Kテレビはもちろん、今後普及が見込まれる8Kテレビや、高精細タブレットの液晶パネル、有機ELパネルなど高精度を要求されるパネル製造に最適な露光装置です。「FX-86S2」は、既存の大型パネル向け第8世代装置に比べて生産性を向上させており、「FX-86SH2」では高解像機能も加え、よりお客様のニーズに合わせた装置となっています。

製品 軽量・コンパクトなポータブル型3D形状計測装置
P3D NC-2323S

軽量、小型、簡単操作で三次元データを取得できるポータブル三次元形状計測装置です。シャッターボタンを押すだけの簡単操作で、パソコンを使用せずに本体のみですぐに計測ができ、従来の三次元測定機のような専門性・専任性は必要ありません。この優れた携帯性と機動性、即時性により、例えば、自動車の試作や製造等の現場に持ち込んでの計測や、目の前にある物を簡単に三次元測定したいというユーザーの要望に応えます。



会社概要

社名(英文社名)	株式会社ニコン(NIKON CORPORATION)
本社所在地	東京都港区港南2-15-3(品川インターシティ棟) TEL (03)6433-3600
本店所在地	東京都千代田区神田駿河台4-6
設立年月日	大正6年(1917年)7月25日
資本金	654億75百万円
従業員数	単体 6,808名/連結 25,434名

役員及び執行役員

1. 取締役及び監査役

※印は代表取締役を表しております。

取締役会長	木村 眞琴※			
取締役社長	牛田 一雄※			
取締役	伊藤 純一※	岡本 恭幸	橋爪 規夫	大木 裕史
	本田 隆晴	浜田 智秀	正井 俊之	松尾 憲治
	樋口 公啓			
常勤監査役	河合 芳道	藤生 孝一		
監査役	上原 治也	畑口 紘		

2. 執行役員

社長執行役員	牛田 一雄			
副社長執行役員 兼 CFO	伊藤 純一			
常務執行役員	岡本 恭幸	橋爪 規夫	川端 邦雄	大木 裕史
	本田 隆晴	馬立 稔和	浜田 智秀	御給 伸好
執行役員	風見 一之	今 常嘉	中島 正夫	下田 治
	岩岡 徹	吉川 健二	中村 温巳	小田島 匠
	長塚 淳	谷井 洋二郎	村松 享幸	平岩 弘之
	山本 哲也	杉本 直哉	中山 正	

事業所

本社	〒108-6290	東京都港区港南2-15-3(品川インターシティ棟)
大井製作所	〒140-8601	東京都品川区西大井1-6-3
横浜製作所	〒244-8533	神奈川県横浜市栄区長尾台471
相模原製作所	〒252-0328	神奈川県相模原市南区麻溝台1-10-1
熊谷製作所	〒360-8559	埼玉県熊谷市御稜ヶ原201-9
水戸製作所	〒310-0843	茨城県水戸市元石川町276-6
横須賀製作所	〒239-0832	神奈川県横須賀市神明町1-15

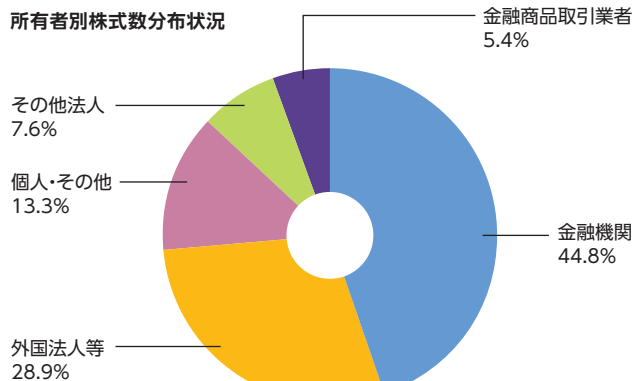
株式の状況

(平成26年9月30日現在)

■発行済株式総数 400,878,921株

■株主数 50,336名

所有者別株式数分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,359	6.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	24,235	6.1
明治安田生命保険相互会社	19,537	4.9
ザ・バンク オブ ニューヨーク - ジャスディック ノントリーティー アカウント	8,049	2.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,378	1.9
株式会社常陽銀行	6,801	1.7
東京海上日動火災保険株式会社	6,712	1.7
日本生命保険相互会社	6,709	1.7
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,481	1.4
メロンバンク エヌイー アズ エージェント フォー イッツ クライアントメロン オムニバス ユーエス ペンション	5,129	1.3

(注)持株比率は自己株式(4,181,560株)を控除して計算しております。

本報告書は、注記のない限り、次により記載しております。
1. 記載金額及び株式数は、表示単位未満の端数を切捨て
2. 比率は、小数点以下第2位を四捨五入

株式に関するお手続きについて

■証券会社等の口座に記録された株式

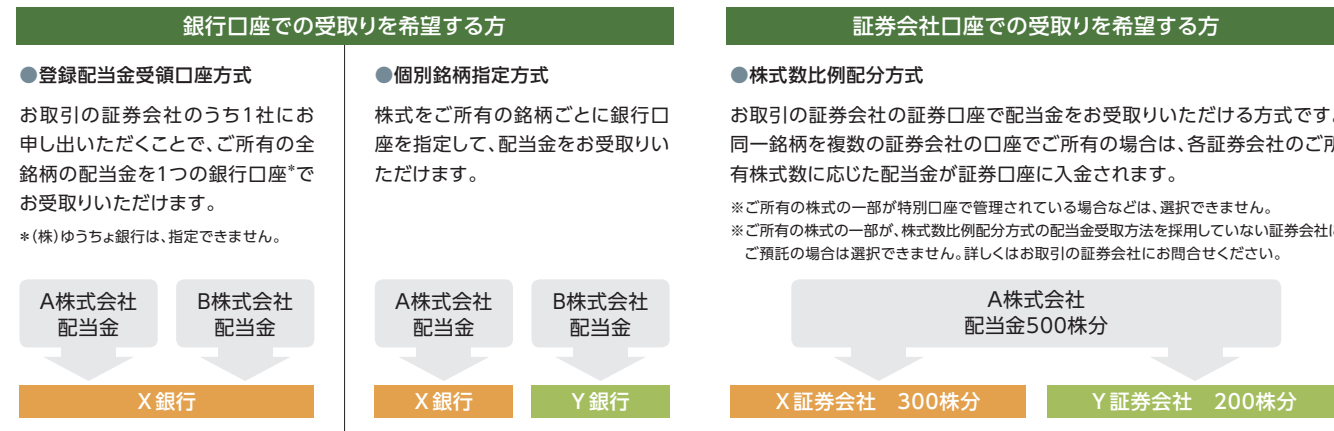
お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	裏表紙の「株主メモ」記載の三菱UFJ信託銀行 証券代行部へお問合せください。
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

■特別口座に記録された株式*

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先				
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	裏表紙の「株主メモ」記載の三菱UFJ信託銀行 証券代行部へお問合せください。 なお、お手続き書類につきましては、以下の方法でもご請求いただけます。				
	<table border="1"> <tr> <td>手続き書類のご請求方法</td> <td>音声自動応答電話によるご請求 …… 0120-244-479 (通話料無料)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>インターネットによるダウンロード …… http://www.tr.mufg.jp/daikou/</td> </tr> </table>	手続き書類のご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 …… 0120-244-479 (通話料無料)		インターネットによるダウンロード …… http://www.tr.mufg.jp/daikou/
手続き書類のご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 …… 0120-244-479 (通話料無料)				
	インターネットによるダウンロード …… http://www.tr.mufg.jp/daikou/				

※株券電子化制度の施行時までには証券保管振替機構(ほふり)に預託されず、その後特段のお手続きをされていない株式は、法令に基づき当社が開設している特別口座に記録されています。特別口座は証券市場での売買を行うことができないなどの制約があります。ご所有の株式が特別口座に記録されている株主様は、裏表紙の「株主メモ」記載の三菱UFJ信託銀行 証券代行部にお問合せのうえ、お早めに証券会社等の口座にお振替いただきますようお願い申し上げます。特に、株券電子化施行日に当時の単元未満株式(1株~999株)を所有されていた株主様、お手元に当社株券がある株主様は特別口座が開設されている可能性がありますのでご確認ください。
※平成26年1月に導入されたNISA口座における株式の譲渡益と配当を非課税とするためには、特別口座に株式が記録されている株主様は、一般口座に株式を振替え、「株式数比例配分方式」を選択する必要があります。

配当金の口座受取制度のご案内



お手続き・お問合せ先 配当金の口座受取りに関するご相談は、お取引の証券会社等(口座管理機関)にお申し出ください。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式の数	100株
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない 事由が生じたときは日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.nikon.co.jp/ir/bp/index.htm
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。



株式会社 **ニコン**

〒108-6290 東京都港区港南2-15-3 (品川インターシティC棟)
<http://www.nikon.co.jp>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

